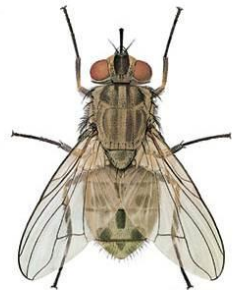


サシバエにご用心！！

だんだんと涼しくなりサシバエが活発になる季節になってきました。サシバエの吸血ストレスによる採食量の低下およびそれに伴う泌乳量・増体量の低下などを防ぐため、サシバエ対策を行いましょう。

サシバエの生態

- 日本全土に分布
- 発生が多いのは比較的涼しい時期（春先、特に晩夏から秋）
- 成虫は♂体長3.0～6.5mm、♀体長5.0～8.0mm
- 体型は正三角形に近い、灰色、腹部が丸い
- 吸血性があり、動物、特に牛の血液を好む（吸血は主に朝夕2回、涼しい時期にはお昼頃に出没）
- 生涯産卵数は約800個
- 放置された糞便や掃除されにくい場所（例：牛房の隅、給水器の下、子牛のハッチ・ペンの周り等）などに産卵する
- 成虫の生存期間は10～30日
- 吸血時以外は牛舎周辺の草むらや木陰で休息する



サシバエの害

- ・ 吸血を避けるために固まることによる ヒートストレス
- ・ 吸血による 痛み
- ・ ゆっくりと横になれない、十分採食できない （栄養的ストレス）：
発育不良や乳房炎、繁殖障害を招く
特に、搾乳牛の場合、搾乳中に乳房を気にするようになり、ミルカーを落としたり、ライナーリップを誘発することで乳房炎が多発するようになります。
- ・ 何度も吸血を繰り返すため、牛白血病ウイルスの伝搬を助長します。
当然ながら血液を介して伝搬する他の病気も広がります。

★異常を認めた場合は家畜保健衛生所に連絡してください

0574-25-3111

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は 0574-25-3484 へ(土日・祝日、閉庁時も通報を受付けます)

☆ サシバエ対策をしましょう ☆

① 畜舎に入れない、出さない

- 防虫ネットの設置、ハエ取りの設置（低いところに）
- 畜舎周囲の草刈り

防虫ネットにはほこりが付きやすいため、換気が悪くなります。
定期的にホコリを払いましょう。

② 発生させない → こまめな除糞と乾燥で発生源を除去

サシバエは生涯に800個もの卵を産みます。発生させないことが重要です！！
糞尿や湿ったところを好み卵を産みます。

畜房のすみ、バークリーナー、柱の根本、汚水だまり、残餌、給水器の下部など、
汚れの残りやすいところの掃除を心掛けましょう。

③ 成虫になる前に駆除する

→ 卵・幼虫・さなぎを殺虫剤で駆除する

農場内にいるハエの全個体数のうち、75%は卵・幼虫・さなぎの状態です。
幼虫は殺虫剤への抵抗力が低く駆除しやすいです。

薬剤は、数cm下まで
浸透するようにしっかり
散布しましょう！！

